

埼玉県親善大使レポート

Octubre de 2016

加藤梨乃

メキシコでも最近秋の訪れを感じ始めてきました。10月は例年、雨季から乾期に変わり始める時期のようですが、今年はまだ夕方突然雨が降るなど温暖化の影響による気候変動があるようで、毎日傘は必須アイテムです…。一方、日中は日差しがとても強く夏が抜けきれていない感じも同時に受け取れます。

今回のレポートではメキシコのfiesta(パーティー)で感じたメキシコらしさ、そしてメキシコの伝統ダンスについてご紹介したいと思います。

Fiesta について

メキシコに来てから人の誕生日、送別会、またその他の様々なイベントに招待してもらいましたが、参加するたび日本のパーティーとの違いを多く感じます。まず、こちらのパーティーは主役、例えば誕生日を迎える人がfiestaを企画し人を招待します。その際招待された友達が、自分の友達をそのfiestaに連れてくることも多く、主役の人がそのfiestaで初めて会う人がいるなんて当たり前。でも全く気にしません。日本ならば家族のみ、また身近な友人間でお祝いをすることが多いのでこの光景には誰もが驚くと思います。“lo que paso en la fiesta, se queda en la fiesta” —fiestaで起こったことはfiestaの中だけに残る。つまりパーティーで何があっても、パーティーだから仕方ない、気にしないでいこう。という何ともメキシコらしい言葉をこのfiestaで学びました。(笑)メキシコ人の多くがサルサ、クンビアなどの踊りを踊ることができますが、彼らはこれらのダンスをfiestaで学ぶそうです。そのためパーティーでは多くの人がダンスをし、本当に愉快的な光景を見ることができます。

サルサの授業

そして私も、実は今サルサのクラスを受講し踊るための特訓をしてい

ます。10月上旬にはそのサルサの発表会が大学内でありました。踊りの文化がない日本人にとって8拍子のテンポでサルサを踊ることは、はじめは難しい、かつ恥らいがありました。今では自分を表現するための一つの手段に、このサルサがある気がします。CEPEでは他にも2つの伝統的な踊りを習うことができるため、機会があれば挑戦してみようと思います。

